

診療放射線技師認識度とOTAフェスタブース 調査アンケート報告

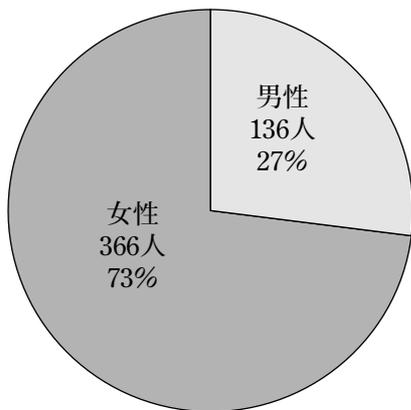
厚生調査委員会

昨年に続き、大田区主催「OTAふれあいフェスタ」にて都民の方々がどのくらい診療放射線技師という職業を認識しているのか、またどのようにして認知したのかについてブース来訪者へ調査を行ったのでその報告を致します。

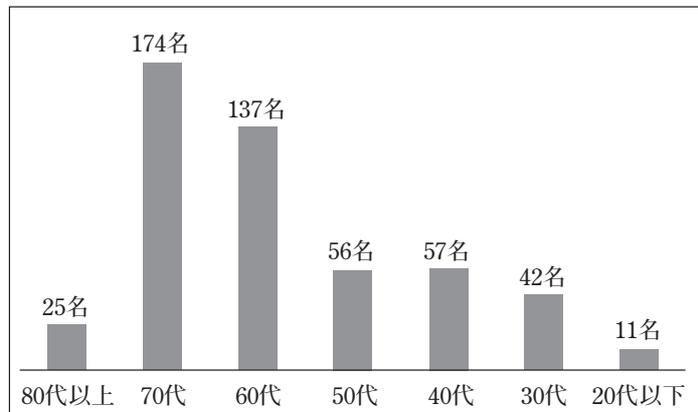
調査日：平成25年11月16日～17日
 対象：一般都民（ブース来訪者）
 来訪者人数：骨塩定量検査 624名
 乳がん触診体験（ファントム使用） 251名
 放射線に関する相談 0名
 アンケート人数：502名

■回答者の内訳

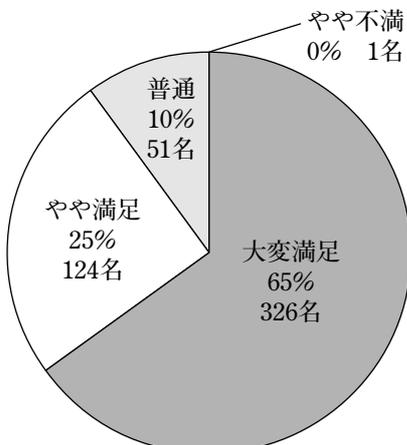
来場者性別



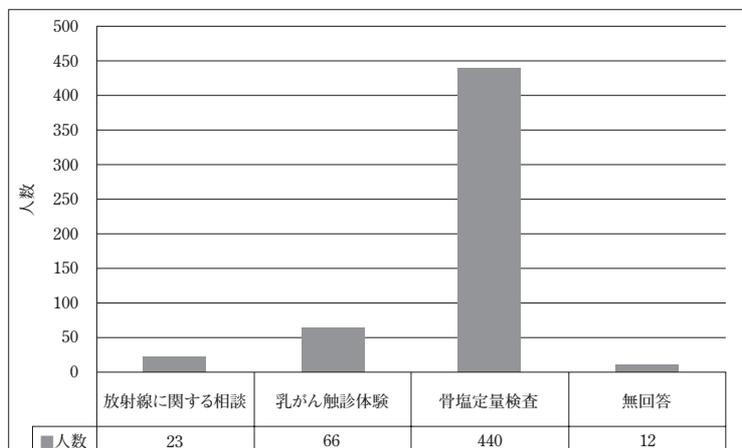
来場者性別



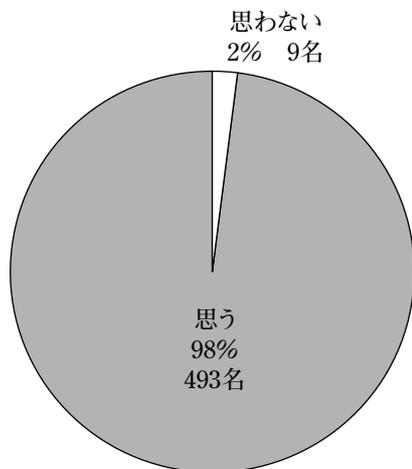
★東京都診療放射線技師会ブースの感想をお聞かせください



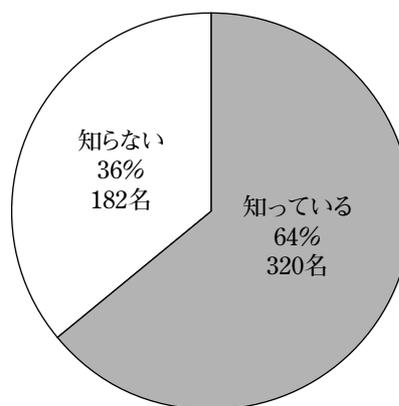
★何に興味を持ちましたか（複数回答可）



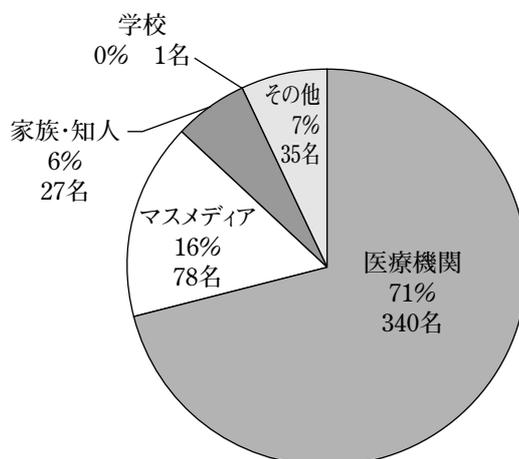
★また来たいと思いますか



★「診療放射線技師」という職業をご存知ですか



★（「知っている」と答えた方にお聞きします）何で知りましたか？（複数回答可）



※マスメディア＝新聞・テレビ・雑誌、インターネットを含む。

調査分析

今回も昨年と同様に大きく二つに分けて調査を行った。ひとつは技師会ブース内で興味を持ったコーナーと、われわれ診療放射線技師の認識度についてである。

技師会ブースについては全体の8割以上（昨年は約7割）が骨塩定量検査であった。そのため昨年と同様に女性が7割以上（昨年と同じ）を占めており、毎年技師会ブースへ来訪して自分の骨塩数値を確認していた方が多かった。

診療放射線技師の認識度については約67.7%（昨年63.9%）の方々が認識しており、そのほとんどが医療機関（昨年60.9%）で知ったと回答していた。またリピーターが多数おり、このブースで診療放射線技師の存在を知ったという声も多く聞かれた。この参加がわれわれの職種広報に役立っていると感じる。

今年の調査も女性の割合が高く、また年齢も高齢の方が多かったため都民の方々の診療放射線技師の認識については年齢の偏りがあるのは否めないが、本会としてこの数値の向上を目指していきたい。

最後に調査にご協力いただいた広報委員会の高坂理事、田中委員そして城南支部会員スタッフへ感謝申し上げます。